

学祭規制は ひっくりかえせる！



国文3年・武田君への 見せしめ処分を阻止しよう！

★学祭規制撤回のために、武田君への処分を阻止しよう！

学生、注目！ 右の文書をご覧ください。国際文化学部3年の武田くんに今、国際文化学部教授会より「処分警告書」というべき文書がきています。武田くんはサークル連合である文化連盟の社会科学研究会に所属し、学生への管理強化・学祭規制に反対してきた学生であると同時に、いまや大学側とベッタリの学祭実を批判し、その先頭に立ってきた学生です。

その武田くんに対して、右の文書は「迷惑だ」と言っているのです。これは武田くん個人への処分ではなく、学祭規制に反対するすべての学生への見せしめ処分です。いつも規制は、特定の学生への処分と一体で行われてきました。武田くんへの「処分警告」を撤回させ、その力関係をもって、学祭規制を撤回させていこう！



社会科学研究会の全学説明会への参加を妨害する学祭実

法政大学国際文化学部

迷惑行為の禁止について

貴君は、「文化連盟」、「社会科学研究会」と称し、本学部および学生センターの度重なる注意・指導にも関わらず、学友会主催行事実行委員会に対して、嫌がらせや恫喝といった数々の迷惑行為を繰り返している。本学部は、6月12日(火)と7月10日(火)の2回、貴君と面談を行い、学部の教育理念を確認した上で、学生の本分に悖るような行為はやめるよう指導した。

しかし、貴君の迷惑行為はその後も続いたため、本学部は学友会主催行事実行委員会の学生と面談を行い、被害の実態について事情を聞くとともに、迷惑行為について事実確認を行った。

また、7月13日(金)の大学祭全学説明会には、本学部の教員11名の立会いを求め、貴君らの迷惑行為の実態について現認を行った。

こうした経緯を踏まえ、本学部は、本年度7月17日開催の教授会において、下記の4項目を決議したので、これを通知する。

記

1. 国際文化学部は、大学祭をめぐるトラブルを回避し、不測の事態に備えるため、貴君が大学教職員および学友会主催行事実行委員会関係者に対して迷惑行為を行うことを禁止する。
2. ここにいう迷惑行為とは、大学教職員や学友会主催行事実行委員会関係者に対し、①本人の了承を得ぬままに、その写真やビデオ、音声などをネットや印刷物に掲載または第三者に供与あるいはそれに関与したり、②接触の強要、嫌がらせ、威嚇、恫喝、つきまといなどの行為を行うことを指す。
3. 万一、これに従わず、これまでの迷惑行為を改めず、今後もこれを繰り返す場合には、本学部は学則に基づいて厳正な処分を行う。
4. 大学教職員および学友会主催行事実行委員会に対しての質疑等は、本学部窓口において、書面のみで受け付けるものとする。

「学祭規制反対！ 処分阻止！」を掲げ、武田くんは毎日昼休みに訴えています！

9月26日には、国際文化学部にて武田君への処分警告通知撤回を求める申し書を提出しました。

10月5日（金）昼休みは集会！

「処分警告撤回」申し入れの回答日に合わせて行います！

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 03-3651-4861 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

御用学者講演会弾劾！ キャンパスから原発をとめよう！

◆「教育の民営化」反対！

3・11以降、原発事故とそれをめぐる対応の中から、原子カムラの問題が明らかになり、大学の腐敗という問題が突き出されています。

特に国立大学法人化（2004）以来、核技術の開発を主としていた科学技術庁と文部省が文部科学省に統合されるのと一体で、「産学連携」の美名の下に学問・教育分野への資本の参入・買収が一挙に進んできました。

この目的を貫徹するために、2000年を境に全国の大学で学生自治の破壊・学生への管理強化＝規制強化が進みました。法政大学の学生会館への小火を口実とした取り壊しもその一環でした。全学連はその現実に対抗し、全国大学で闘ってきました。

近年の法政大学での、文化連盟の非公認化（2008年）以来いっきょに進んだ規制の強化はまさにこの流れと一体です。武田君への処分をめぐる攻防はこの「教育の民営化」との対決でもあります。

福島原発事故が起きた今では、多くの御用学者が「原発安全神話」に代わって「放射能安全神話＝100ミリシーベルトまで影響なし」を声高に主張しめています。そしてそれが福島の人々から避難の権利を奪い、子どもたちを高放射線量下に置き去りにする論拠になっています。福島県の子どもの甲状腺検査の結果（全体の約36%にのう胞・しこりが見つかった！－通常は1%－）に対しても、福島県立医大副学長にして福島県放射線リスク管理アドバイザー・山下俊一を先頭に「放射線の影響ではない」という結論ありきの判断を下しているのです。

◆法政大学は御用学者を呼ぶな！

大久保利晃

（おおくぼとしてる）

- ・放射線影響研究所（放影研）理事長
- ・福島県郡山市原子力災害対策アドバイザー



来る10月6日、人間環境学部のセミナー「健康に生きていくために」に上記の大久保利晃がやってきます。放影研はヒロシマ・ナガサキの被爆者に対して「検査すれども治療せず」の態度をとり、被爆者の怒りの的になってきたABCC（原爆傷害調査委員会）の後継組織であり、戦後一貫して低線量被曝・内部被曝の軽視・無視で知られる組織です。「放射能安全神話」の中核です。

法政大学は「言論の自由がある」というのかもしれませんが、学祭規制に反対する武田君を「迷惑」として処分策動をかけながら、そんな「中立」を装ったペテンは許されません。

◆キャンパスから原発をとめよう！

学生こそがキャンパスから立ちあがり、原発をとめよう！ 私たちは10月6日の昼休み、「御用学者講演会弾劾」の行動を行います。反原発・首相官邸前行動への参加と一体で、今のふざけた大学のあり方を変えていこう！

全国の学生と共に、10・19法大デモで武田君への処分阻止・学祭規制撤回を勝ち取り、大学を変えよう！



反原発・首相官邸前行動

10月5日（金）18～20時

※文化連盟のオレンジの旗に集まろう！

10/19 法大デモ×官邸前

<主催>文化連盟、全学連 法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合 12時40分～